

情報連絡員報告総括表(令和5年5月期)  
富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醤油・味噌業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	→	↘	↘	・原材料価格の値上がりが止まらず、同じ材料でも年に数回も値上がりしており、商品販売価格に転嫁したいがタイミングに苦慮している。 ・販売価格が高くなると買い控えが起こり、安い商品しか売れないため、売上が下がる状況である。
	豆腐製造業	↗	↗	↗	→	↗	→	→	→	→	・原料コストの増加は継続するとみられ、更なる価格転嫁が必要である。 ・賃金の増額を考慮しなければ、良い人材を確保することは困難である。
繊維工業	ニット製造業	→	→	→	→	↘	→	→	→	→	・車資材関連は、若干回復傾向にある。 ・材料費や電気料金の値上がりによる収益の圧迫が継続している。 ・人員確保が課題である。
	絹人繊維物製造業	↘	↗	↗	→	↘	↘	→	→	↘	・化合繊維物、絹織物ともに、状況は前月と変わっていない。 ・原材料や副資材の値上がりが続いており、収益を圧迫している。 ・商品価格を値上げしたが、売上数量が減少している。
	綿・スフ織物業	→	→	→	→	↘	→	→	→	→	・受注状況は上昇しているにもかかわらず、エネルギーの高騰により諸経費が急激に上昇しているため、収益を圧迫している。
木材・木製品	一般製材業	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	・住宅着工戸数の減少は、製品需要を停滞させ、手持ちの在庫が減少せず、製品の販売価格の低下につながっており、経営の悪化を招いている。 ・また、人件費や電気代、各種住宅資材の高騰、住宅需要の回復が見込めないことなどから、稼働率が低下し、一段と厳しい経営環境となっている。 ・経営環境の悪化は、木材関連事業者の売上の減少や引き合いの減少、採算の悪化となり、長引くことによって事業停止につながらないか危惧している。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。

印	刷印刷業	↘	→	↗	→	→	→	→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上・収益ともに納入先の業界によって異なり様々だが、総じて、仕入れ価格の値上がり分全てを製品価格に転嫁出来ているところはない。</li> <li>・官公需、特に県では前例に縛られ、未だ価格交渉の余地を示さない場合があり、旧態依然の目先しか見えない硬直した業務姿勢が窺える。</li> </ul>
化 学 ・ ゴ ム	医薬品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料や燃料の価格上昇が続いているが、製品価格への転嫁は一部のみになっている。</li> </ul>
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の生コンクリート出荷数量は、前年同月比6.5%の増加となっている。</li> </ul>
	コンクリート製品製造業	→	→	↗	→	→	→	→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足が続いている。</li> </ul>
	骨材・石工品等製造業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨材需要は、県下全域的に、公共・民間とも低調な状況で推移している。</li> </ul>

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	↘	・生産量について、小型の工作機械部品や半導体関連部品がやや落ち込んでいる。 ・先行きの景況感も悪化している。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	→	→	↗	→	↗	→	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・鉄工業製造部門は、前年同月に比べて生産受注が持ち直し傾向にある。 ・業界の景気は好転しているものの、受注が入っても製品材料の入荷が不安定なことや材料費が高騰していること、溶接作業による電気代の高騰、製品運搬費の高騰、物価高騰による賃上げ等、課題が山積している状況にある。
	めっき加工業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	↘	・昨年の材料高騰による販売価格の値上げに続き、電気代等の高騰による販売価格の再値上げによって、売上は増加傾向にある。 ・前年同月比でガス代は約40%、電気代は約30%増加しているが、販売価格の値上げ効果によって、収益状況は前年同月と変わらない。
一般機器	金属工作機械製造業	↘	↗	→	→	↘	→	→	→	↘	・受注状況について、前年同月比99.8%となり、ロボット関係は概ね順調、その他油圧・工具関係は不振、軸受・工作機械は横ばい状況である。上期中までは厳しい状況が続く見込みである。
	金属加工機械製造業	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	↘	・特になし。
	非金属用金型製造業	→	→	↘	→	↘	→	→	→	↘	・原材料や諸物価の高騰、インフレ経費増が経営を圧迫する中、受注額への転嫁が多く契約において出来ていない。特定される取引関係では交渉の余地もあるが、多数の見積によるオープンな市場においては、需要の低迷から逆に下落傾向にある。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	→	↘	→	→	↘	→	→	→	↘	・新型コロナウイルス感染症の終息により、需要が観光や飲食に移り始めている影響で、先々の受注が減少する見通しである。 ・サービス業の雇用が増加している影響から、人材の採用が困難になってきている。 ・原材料やエネルギーの高騰が続いている。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	↗	↗	→	→	↗	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・イベントや展示会、観光が活発になり始め、記念品等の注文が入り始めている。観光シーズンに向けての需要に期待している。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	↘	→	↗	→	↘	→		→	↘	・袋セメント取り扱い数量について、年度スタートは良かったが、5月入るとブレーキがかかり、先の見通しに不透明感が感じられる。 ・昨年、売値を大幅に値上げした結果、相当数、員外組合員のホームセンターのセメント袋に流れたと思われ、乖離幅が縮小しない限り、この傾向は続くと思われる。
	非鉄金属製品卸売業	↘	↗	↗	↘	↘	↘		→	↘	・大型連休は、商品の補充や新規受注を期待していたものの期待外れに終わったが、5月後半には、海外からの需要が増えてきており、少しずつ受注が増えている感がある。
小売業	鮮魚小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、横ばい傾向である。
	食肉小売業	→	→	↗	→	↘	↘		→	↗	・新型コロナウイルス感染症の終息により、景況は改善傾向にあるが、エネルギー価格の高騰や仕入れ価格の高騰が続き、収益状況は悪化の一途である。更に、人材が不足しているところに、人件費が上昇傾向となり、今後も収益性の改善は見込めない。
	野菜・果実小売業	↘	→	↘	→	→	→		→	→	・富山卸売市場の売上高は、前年同月比96%となっている。
	家庭用電気機器小売業	→	→	↗	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・特になし。
	ガソリンステーション	↘	→	↗	↘	↘	↘		↘	↘	・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、コロナ禍からの経済回復などSSの経営環境は厳しさを増している。カーボンニュートラル対策を模索しながらも、平時・緊急時を通して燃料の安定供給に取り組んでいる。 ・5月の大型連休も需要の回復感は弱く、また、物価高による節約志向が響き、ガソリン販売量は、前年同月比で横ばいの見込みである。 ・ガソリン販売価格については、石油元売り会社への燃料油価格激変緩和補助金効果により、小幅な値動きが続いているものの、前年同月よりも価格は高い状況が続いている。
	農機具小売業	↘	↘	↗	↘	↘	→		↘	↘	・特になし。
	ショッピングセンター	→	→	→	→	→	→		→	→	・前年同月比で5月の売上は100.4%、客数は98.1%となっている。ヘアカラー専門店では、売上は前年同月比186%、客数は174.5%と高い比率となっている。
	ショッピングセンター	↗	→	↗	→	→	→		→	→	・電気料金や資材の高騰などにより、利益率が低下している

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
商 店 街	商 店 街	→	→	↗	→	→	→		→	→	・大型連休について、期待したほど中心部への集客につながらなかったようである。 ・海外観光客も増え始め、鮎店等では行列が見られ賑わいが戻ってきている。 ・飲食店での個人や小グループの利用は増えてきているが、団体での利用はまだ控え目な感じがある。
	商 店 街	↗	↗	↗	↗	↗	↗		→	↗	・新型コロナウイルス感染症の5類引下げや大型連休、天候が良かったことなどが重なり、5月の物販関係や飲食関係への人手について、前年同月比で30%～40%の大幅増となっている。
サ ー ビ ス 業	クリーニング業	↗		→	→	→	→		→	↗	・特になし。
	飲 食 業	↗		↗	→	→	→		→	↗	・物価高騰の影響なのか、夜の客の入りが少ない。
	建 築 設 計 業	↘		→	→	→	→		→	↘	・全体的に官公需の受注が低下している。
	自 動 車 整 備 業	→		→	→	→	→		→	→	・5月の自動車新車新規登録・届出台数は、前年同月比で9ヵ月連続で増加しているが、コロナ禍前の状況には至っていない。依然として半導体不足による部品生産不足ではあるものの、年明け以降の単月実績は増加しており、受注残の解消に期待できそうである。 ・受注残の解消後は、ウクライナ情勢や為替市場、物価高騰の状況によっては、自動車の購買意欲が薄れ、新車販売台数の減少となることが予想される。 ・自動車整備事業者は、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題を抱えており、対応できない事業者は扱える車種が加速度的に減少していく状況である。
建 設 業	鉄 骨 ・ 鉄 筋 工 事 業	→		→	→	→	→		→	→	・首都圏や大都市圏では大型物件の着工が相次いでおり、大手ゼネコンでは、依頼を断る会社も出始めるほど受注計画が大幅に上回っている。建設サイクルの短い物件が中心の地場ゼネコンは、鋼材やその他のコストアップを理由に延期や中止になる物件が出てきているため受注競争をしており、鉄骨加工業者への指値は非常に厳しくなっている。中小鉄骨加工業者は大手の手伝いをしながら工場稼働率を維持し、安値受注を回避している。 ・今後、電気料金や運送費を始めコストアップするものが多く、安値受注をすれば経営に影響が出てくる可能性がある。
	一 般 土 木 建 築 工 事 業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	管 工 事 業	→		→	→	→	→		↘	→	・景況に変化はない。 ・水道関連の部材や資器材の価格について、今年に入り各メーカー値上げを幾度となく行っている。 ・会員各社において、技術資格者の高齢化と若年層の人手不足が深刻となっている。
	電 気 工 事 業	↗		↗	→	→	→		→	→	・企業の設備投資などの受注は、回復傾向にある。 ・メーカーからの電設資材・機器の調達に滞る状況も改善され、受注・工期も通常の状態になりつつある。
運 輸 業	道 路 貨 物 運 送 業	→		→	→	→	→		→	→	・燃料油激変緩和補助金が9月で終了することによる影響が懸念される。
	道 路 貨 物 運 送 業	→		→	→	→	→		→	→	・燃料価格について、前年同月比－1.2円/ℓと下がっているものの、依然として高値で推移している。前月比では＋0.8円となっている。 ・物量については、前年同月比102.2%で好調である。